

最も力となる意識を見出す認識範囲とは？

マヤ暦パートII、図①

簡単に表現すると、下記のような意識の変化・進化をもたらす認識拡大が
皆の力を同時に引き出すものになるので、最も役に立つでしょう。

真実は「一つである」 認識範囲から	⇒	真実は、「枠」次第で、無限にありえる 認識範囲への拡大
「問題意識」となる、何かが 掛けている、足りない、不完全である と感じる認識範囲から	⇒	「完全意識」となる、使命の為に 全てが完璧で、完全である 認識範囲への拡大
違いを恐れる、安心できない 認識範囲から	⇒	違い楽しむ！皆の力として活かす 意識への拡大
自分、他人、世界の可能性や 力が限られた 「区切った存在意識」となる 認識範囲から	⇒	世界全てや皆は一つの同じエネルギー として扱える無限の 源である「ソース(創造主)意識」となる 認識範囲への拡大
間違いが可能な、勝ち負けや 上下関係を持続させる競争意識となる 認識範囲から	⇒	皆の使命を最高に導き合う事が 目標で、存在価値を平等に実感する 意識となる認識範囲への拡大
善悪価値判断や両極性に 限られた、「白・黒の意識」となる 認識範囲から	⇒	全てを使命に導かれるエネルギー として活かす、「虹の意識」となる 認識範囲への拡大
「ない、足りない、できていない」 感覚から動く意識 につながる、認識範囲から	⇒	「既にある、足りている、できている」 感覚から動く意識 につながる、認識範囲への拡大
「ある、ない」の経験をもたらす 与え、受け取る意識から	⇒	「常にある」経験につながる、自然に、 常に循環させる意識への拡大